

# 街look田原

街あるつく田原

平成30年11月15日(木) 第45号



## ウォーキングトレイル「水辺の道(清谷橋～さくら橋間)」

●まちなか歩きを楽しもう！

四季を通じていろいろな表情を見せる清谷川の両側の歩道「ウォーキングトレイル・水辺の道」が12月上旬にさくら橋～一本橋まで延長されます。

「ウォーキングトレイル・水辺の道」はさくら橋～一本橋～清谷橋を結ぶ、往復全長約1km。春の3月下旬から4月初旬には「桜のライトアップ」が行われる桜の名所としても毎年賑わいをみせています。



春には満開の桜並木で賑わいます

今年6月には、駅前の工場跡地にララグラン内商業施設とまちなか広場がオープン。また来年1月には駅南側にホテル、4月頃には親子交流施設のオープンも控え、着々と駅周辺



6月にオープンしたララグラン商業施設

が再開発されています。

変化を遂げる三河田原駅周辺と四季折々の表情を見せる清谷川。気持ちのいい気候の続く秋、「ウォーキングトレイル・水辺の道」でペットとの散歩はもちろん、健康のためにウォーキングやジョギングを楽しむながら始めてみませんか？



工事が進む来春オープン予定の親子交流施設



## 田原まちなかの生活を今も見守り続ける「二七の市」

500年以上前の田原城築城で生まれた商業の中心地・城下町の「にぎわい」

### 田原の朝市「二七の市」

田原のまちなかの朝市と言えば「二七の市」。伝統のある朝市で、2と7がつく日(2日・7日・12日・17日・22日・27日)の午前5時から午前7時30分ごろまで開催されています。暖かい時期には夜明け前、朝4時から並んでいる人もいるほど、昔から地域の人にとって生活の一部となっています。主に地元農家や地域商店が出店し、自慢の商品が並びます。



### 田原文化会館南側で 早朝から元気に開催中！

現在は、田原文化会館南側の第1駐車場が多い時で25店以上が出店され、健康志向や安心安全な食品を求める時代と相まって、地元野菜や果物などを買いたい求める方々で朝の田原のまちなかの賑わいを作っています。

戦前・戦後は、現在の県道28号の船倉橋付近から市役所辺りまでの道路の両側に、約300軒の店が並び、野菜をはじめ履物、布団、衣料品、鮮魚、漬物屋など生活に必要なものが手に入る場所として大切な市でした。その後、何度か移転し、現在は田原文化会館の第1駐車場に場所を移し続けられています。今の

時期は5時ごろから7時半頃までの開催ですが、7時過ぎには商品がなくなり、閉店するお店もあるので早めに。時代の変化に合わせながらも、変わらない朝市の姿と朝市ならではの心が通う会話やコミュニケーションを楽しみながら各店を回る常連客も多く、地元の人から愛される市として親しまれています。



### 田原「二七の市」

会場／田原文化会館 第1駐車場  
(敷地内に無料駐車場あり)

開催日：毎月2・7・12・17・22・27日

開催時間(季節により異なります)

4月～11月：AM5:00～AM7:30頃

12月～3月：AM6:00～AM8:00頃

※商品がなくなり次第、早めに閉店する店舗があります。

お問合せ／出店者代表：永田  
☎090-1289-6136

# 冬のイルミネーションが始まりました!



冬のまちなかの  
イルミネーションが  
華やかにスタート!

11月3日(土)、毎年恒例の中央  
広場でのイルミネーション点  
灯式&キャンドルナイトのク  
リスマスライブで幕を開けた、  
冬のイルミネーション。20年以  
上前から取組みを始めた「はな  
とき通り商店街」から「セント  
ファーレ」〜「三河田原駅前三  
河田原駅前西の信号まで続き、  
今年さらさら「ラグララン」も  
加わりよりパワーアップ!

田原駅前とラグラランの両側  
がライトアップされたことで、  
駅前周辺は今までにないより幻  
想的な雰囲気…。「まちなか賑  
わいエリア」をロマンティック  
に彩るイルミネーション(点灯  
時間：午後5時〜午後10時ま  
で、大切な人と一緒に秋〜冬の  
夜の散歩コースとして楽しんで  
みてはいかがでしょうか?三河  
田原駅前周辺では翌年の2月中旬  
まで楽しめます。

田原のまちなかは“キラキラ満載”♪ イルミネーションのシーズン到来!

## サンタが街にやってくる

12月8日(土)開催  
15:00~17:00

場所

田原駅前広場・田原駅前通り線・はなとき通り・  
中央広場・セントファーレ・ラグララン周辺  
(※雨天時はセントファーレセンターコート)

### ★サンタさんにお手紙を書こう

12月7日(金)折込チラシの「サンタさんへのお手紙」へ  
お手紙を書いて、イベント当日にサンタさんにお手紙を渡してね。  
**お菓子のプレゼントがもらえるよ!(先着300名様)**  
サンタさんは地図のどこかにいます!  
(大人の方もぜひ参加ください)



### ★幸せの木に飾る "しあわせ" (先着100名様)

四つ葉のクローバー型プレートに  
願いごとを書いて、田原駅前広場の  
幸せの木に飾ります。



●お問合せ:あつまるタウン田原Tel.0531-24-2345

匠の技が凝縮されたものが、印章(はんこ)です。  
ぜひ、本物の印章をお選びください。

いしかわ ひとし  
一志堂 石川印舗 **石川 仁さん**

■石川印舗の歴史

一志堂・石川印舗は現在の店主、石川仁さんの祖父が昭和5年、東京浅草で印鑑の製造販売を開始したのが始まりです。昭和19年、第二次世界大戦の空襲で被害を受けた為、祖母の実家のあった



住 田原市田原町本町48  
電 0531-22-0437  
fax 0531-22-6519  
営 8:00~19:00  
休 日曜日  
P 2台



■仁さんの生い立ち

田原に移り印鑑の製造販売を続けました。  
昭和37年に仁さんの父親が家業を継ぎ、昭和62年からは仁さんも加わり家業を支えてきました。

仁さんは昭和40年、田原で生まれ、高校まで田原で育ちました。高校卒業後、静岡県沼津市の印鑑店で3年半修業し、昭和62年秋に家業の石川印舗に入りました。

初めの頃は、印鑑を彫ることに没頭していたそうですが、父親が平成17年に亡くなられた後、今までと変わらず、技術屋として、良いものを造ってお客様に満足して頂くことを常に考え、店を守ってきました。

■印鑑の変貌

昭和の時代には、印鑑の材料は象牙、黒水牛、ツゲ、オランダ水牛しかありませんでした。しかし平成の時代になって、新素材(樹脂)がたくさん使用されるようになってきました。色も大変カラフルになり、時絵やキャラクターを印刷したものも登場しています。印鑑だけではなく、印鑑ケースも同じで、昔ながらの黒ではなく、亀甲模様やカラフルな色の物もたくさん作られています。



■街との交流

地元本町のお祭りには昔から参加し、10年ほど前からはお祭りで興味を持った三味線も町内の仲間と一緒に楽しんでいきます。毎月1回は町内のゴルフコンペにも参加して、先輩方との交流を続けています。

■これからの思い

お客様も時代とともに、ニーズ、好みが変わってきています。いわゆる『職人気質』といった頑固なものではなく、そういった変化を許容できる向上心や研究心、探求心をもってチャレンジしていきたいと力強く語って頂きました。

